

■プログラム名

強靱な国づくりを担う国際人育成のための中核拠点の形成
－災害復興の経験を踏まえて－

■現状及び展望

I. 平成 25 年度の実施概要

【学生交流プログラム】

京都大学で 8 月に実施した集中講義に ASEAN 連携大学・3 ヶ国 5 大学から各 3 名計 15 名の学生を短期交流学生として受け入れ、またタイ・カセサート大学において 9 月に実施した集中講義に京都大学から 16 名の学生を派遣するとともに、バンドン工科大学、ベトナム国家大学ハノイ校からそれぞれ 3 名の学生をタイへ派遣した。

【教員交流プログラム】

教員の相互交流によるコラボレーション講義を実施した。ASEAN 連携大学・3 ヶ国 5 大学から若手教員を受け入れ、また京都大学から各連携大学へ若手教員を派遣した。

【FD シンポジウム】

ASEAN 連携大学・4 ヶ国 6 大学から教員を招聘し、協働教育プログラムの改善を図るための FD シンポジウムを京都において 11 月 25 日に開催した。

また、シンポジウムにあわせて 5 ヶ国 7 大学の教員が一堂に会して Committee Meeting を開催し、次年度の学生交流計画等について協議を行った。

II. 平成 26 年度の実施計画

①京都大学で 8 月に実施する集中講義には ASEAN 連携大学・3 ヶ国 5 大学から各 3 名計 15 名の学生を受け入れるとともに、台湾成功大学から 4 名の学生を受け入れる予定。

また、ASEAN 連携大学における 9 月の集中講義についてはホスト校であるバンドン工科大学において実施するため、京都大学から 15 名の学生を派遣するとともに、タイ 3 大学、ベトナム国家大学ハノイ校から各 3 名の学生をインドネシアへ派遣する予定。

②若手教員の相互交流を継続し、コラボレーション講義を実施する。

③協働教育プログラムの改善を図るための FD シンポジウムを開催する。

■問題点及び制度上の改正希望

特にありません。

■学生交流数

交流方向	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度(※)
受 入	0	15	15
派 遣	0	15	16

(※) 予定含む